

令和2年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立高松小学校

作成日

令和3年 3月 12日

1 教育目標

豊かな人間性と自ら学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる子供を育成する

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	各柱は適切な指標であると思う。 各校のアンケートの実際の子供の声をきちんとヒアリングし集約している点がよい。			
意見重点目標に対する	・子供にいろいろな機会をとらえ小さな成功体験を積んでいくことができる。 ・読書は知識の積み重ねであり、子供の可能性を広げている。	・縦割り活動は小さな社会の縮図のようなものそのことを経験できるとともに、地域の仲間としてともに成長できる機会となっている。 ・高松という地域での仲間づくりの交流ができています。	・早寝早起き・明朗活発と心と体は直結するものである。日々の生活から心と体のリズムを作っていく必要があります。 ・新型コロナウイルス感染拡大を防止するために学校は大変な努力をしていると思う。	・地域の皆で子供たちを見守り育てていく。核家族や共働きが増えている現在、地域の人たちが学校のサポートをしていく部分は大きい。
意見取組状況に対する	・基礎学力の積み重ねが大切である。 ・授業のアプローチについて先生方は大変であったと思う。その分子供の興味は向上していく。	・学校図書の充実、興味関心のある本や新しい本を提供していく必要がある。今後も図書室が居心地の良い場所になるようにしていくことが求められる。 ・縦割りは仲間での活動する機会がもたらす良い影響力がある。	・新型コロナウイルスの影響で子供たちの体力低下が気になります。 ・安全対策をとった中で体力向上に向けて頑張っていることが分かります。	・今年度はPTAの青パトができずに地域の交通指導員の方との交流が十分持つことができなかった。 ・各委員共高齢化が進んでおり、今までと違う活動の仕方模索する必要もあると思う。 ・例年であれば公民館フェスティバルや井原神社夏祭りなど活動があるのだが新型コロナウイルスの影響で活動ができず残念だった。
に取組する適切な意切さの検証結果	・先生が一丸となり子供たちを前向きに授業に参加しやすいように取り組んでくれている結果である。 ・高松小学校の先生方の日ごろの取組に感謝しています。	・縦割りによる上級生が下級生の面倒を見る、そして、下級生が上級生を頼りにする整備されてきている。 ・読書の習慣は大切である。	・指標は他者でなく自己に向けることで、自分たちの成長を自分たちで実感していってもらおう。「昨日の自分を超えていく！」 ・魅力的な給食は子供たちの成長の源です。	・バザーなどがなくなってしまったのでそれに代わるイベントがあればと思う。 ・地域の方への挨拶を積極的に行っていくことが大切である。 ・高松には様々なスキルを持った方がいます。子供たちのために声をかけてください。
改善方法にに向けての意見	・先生一人一人が子どもの細部まで注意してくれていることに感激している。 ・授業の工夫をし、いかに楽しく興味を持たせるために力を尽くしてくれていると思う。	・今までの取組を継続して益々豊かな感性のある子供たちを育ててほしい。 ・図書への提供については、今後もPTAとして引き続き協力していきたいと考えています。	・子供たちに自分の得意なものを見つけてもらいたい。 ・校内(グラウンド)でのいろいろなスポーツができる場所として開放を望みます。(現在、どの公園もボール遊びが禁止されています)	・新型コロナウイルス感染拡大防止の中で地域の方とどのように交流をしていくのか今後も検討を加えていく必要がある。 ・地域の中の学校という立場で地域をどんどん巻き込んでいく活動を行ってきたい。

3 その他のご意見

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点に立った時、できるだけリモートで授業ができるようにハードとソフトの充実を願います。
- ・コロナ禍ではありますが子供たちはいつも元気でよい顔をしています。大変うれしく感じています。
- ・学校生活を見ていて心の安定がうかがわれます。